

議会 だより

No142

平成27年
1月31日発行

平成26年 12月定例会

平成26年度補正予算可決
(一般会計・各特別会計)

一般質問

【7人の議員が町の考えを問う】

原 義裕議員 神谷長平議員 塩井早苗議員
坂井孝次議員 大野貞夫議員 小島幸典議員
小沢泰治議員

- 可決された議案……………3
- 一般質問……………4~10
- わたしのふるさと等……10~12



中野幼稚園の新春もちつき

町民の代弁者たる 責務を忘れずに



議長 本間 恵治

新年明けましておめでとうございます。清々しい気持ちで初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。町民皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

さて、昨年の暮れ、アベノミクス等の是非を問う解散総選挙が行われました。現政権与党が圧勝し、第3次安倍政権が誕生しました。内憂外患、難題山積の中、しっかりと舵取りで国民の生活を守っていただくよう願うばかりです。国民の信を得たとの認識ですが、全有権者に占める得票率は25%にも届いておりません。国民が白紙委任したわけではなく、国会での丁寧な説明や議論を尽くし政策を進めて欲しいものです。

地方においても今年は、統一地方選挙の年です。私たち議会人としても、4年に一度の住民皆様からの審判を受ける年です。議員一人ひとりが、これまでの議会活動を説明し、今後の将来ビジョンを示すことに一層努力しなければなりません。

町民の代弁者たる責務を忘れることなく、真剣に行政のチェック機能を果たしていくことを町民皆様にお誓い申し上げます、年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 本間 恵治
副議長 田部 健二

総務教育常任委員会

委員長 岩崎 律夫
副委員長 坂井 孝次
委員 立沢 稔夫
小島 幸典
神谷 長平
松村 潤

産業福祉常任委員会

委員長 大野 貞夫
副委員長 半田 晴
委員 細谷 博之
小沢 泰治
田部 健二
原 義裕
塩井 早苗

可決された議案

【専決処分の承認】

【**邑楽町一般会計補正予算**】
衆議院議員総選挙執行経費について専決処分された補正予算を承認しました。

【条例改正等】

【**東毛広域市町村圏振興整備組合の解散・財産処分・事務の承継に関する協議**】
組合を解散することの協議について議決しました。

【**邑楽町情報公開条例の改正**】

「独立行政法人通則法の一部を改正する法律」の平成27年4月1日施行に伴い、引用している条文の改正と文言の整理を行いました。

【**邑楽町職員の給与に関する条例の改正**】

人事院勧告に基づく国家公務員給与の引上げに準じて、職員給与を改正しました。

【**邑楽町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正**】

邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の改正
職員に準じて、議員と町三役の期末手当を0・15%引き上げました。

【**邑楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**】

「子ども・子育て支援法」の平成27年4月1日施行に伴い、子ども子育てにおける家庭的保育事業等の施設や事業の設備・運営等の基準を定めました。

【**邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**】

児童福祉法の改正により、子ども子育て支援新制度の実施にむけ、放課後児童健

全育成事業の設備・運営等の基準を定めました。

【**邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の改正**】

「児童福祉法の改正」及び「難病の患者に対する医療等に関する法律」の平成27年1月1日施行に伴い、引用している条文を改正しました。

【**邑楽町国民健康保険条例の改正**】

出産育児一時金の金額「39万円」を「40万4000円」に改め、国民健康保険法の改正に伴い、条文の整理を行いました。

【**邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例**】

従来、厚生労働省令により定めていた地域包括支援センターの職員及び運営に



■平成26年度補正予算額(専決処分)

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	89億 0,987万円	1,224万円	89億 2,211万円

■平成26年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額	
一般会計	89億 2,211万円	9,274万円	90億 1,485万円	
国民健康保険特別会計	30億 8,631万円	1億 7,849万円	32億 6,480万円	
後期高齢者医療特別会計	2億 2,194万円	26万円	2億 2,220万円	
介護保険特別会計	18億 1,421万円	96万円	18億 1,517万円	
下水道事業特別会計	3億 1,795万円	△31万円	3億 1,764万円	
水道事業会計	収益的支出	5億 3,355万円	12万円	5億 3,367万円
	資本的支出	2億 1,802万円	191万円	2億 1,993万円

一般質問

一般質問は、12月9日及び10日に行われました。質問には、7人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

町政運営の見直しと活性化について

原 義裕議員 時代の経過に伴う環境・人口・経済変化を鑑みて、都市計画マスタープランや第五次総合計画の見直しと、全国的に知名度を上げるべきである。第六次総合計画策定にあたり、邑楽町の将来をどのように考えているか。

町長 都市計画決定がされており、その点の見直しはされていない。現状を踏まえると平面交差で要望し、改善できると思う。

原 義裕議員 経済状況、環境変化に伴う見直しが必要だ。また、新中野住宅団地入口までの拡幅工事も同時期からの計画と思うが。

町長 通学路であり大変危険で、地元からも要望されている。できるだけ早く実現できるようにしたい。

原 義裕議員 平成元年に計画決定された、県道足利邑楽行田線、本中野駅西の踏切縦断跨線橋の見直しについて聞きたい。

原 義裕議員 高島小学校の南にある「ふるさと公園」について聞きたい。公園の中に小川が流れ、水遊びができることが特徴で、

高島小学校の低学年が野外授業等で年1、2回利用している。しかし、秋から冬にかけて水路では水が腐り、遊んでいるうちに落下してけがをする危険がある。また、立派な石垣や垣根があり、園内の見通しが悪い。不審者の隠れ場所にもなりかねない。



有効活用が望まれる「ふるさと公園」

原 義裕議員 昨年11月に国道354号バイパスが開通し、国道122号石打交差点に設置されていた「大型車及び大型特殊車両進入禁止」の標識が外された。深夜2時、3時でも騒音や振動がひどく、寝不足やストレスによる耳鳴り、製品の不良等が発生していると聞いている。道路沿いの住民から陳情書が出ているようだが、町の対応について聞きたい。

町長 公安委員会ですら十分な調査のうえ、解除されたとは理解している。そのため振動や騒音問題が出ていることは、その通りだと思う。要望については真摯に受け止め、対応していく。

皆さんとともに進めていく

原 義裕議員 町の活性化が図れる事業として、県内9番目になるご当地ナンバープレートが27年4月に交付される。今後の活性化を期待する。

町長 皆さんとともに良い町づくりを進めていく。

組織の強化について

神谷長平議員 平成19年12月19日から金子町政がスタートして、今年で7年になる。課長の定年退職や降格を含めて15人の課長が代わった。平成26年4月1日現在では、4年以上経験した課長が15人中8人。平成27年4月1日の予定では15人中7人で構成される。組織として4年以上経験した課長が3分の1以上いるのが理想的ではないのか。

町長 今後とも町民の皆様化に迷惑がからまない体制づくりをしていかなければならない。正直懸念している。

神谷長平議員 平成25年8月30日の全員協議会の際に、2年後、3年後、4年後にどのような対応をしていくのか、尋ねた経緯がある。その後、町としてのどのような検討が行われたのか。

町長 県庁への職員派遣で実務や専門的な知識を習得させ、昇任をするにあたっては、論文や面接による昇任制度を取り入れて、職員

神谷長平議員 町の将来をよく見極めて、間違いのない

町長 課長職としての受験者は3人である。

神谷長平議員 町長が就任以来14人を課長に任命したが、平成27年3月に4人、平成28年3月に6人、平成29年3月に4人の課長が定年退職を迎える。結果14人が代わる。これらを見ると余りにも町の将来を見ない、本当に無責任な任命ではないのか。

町長 これからは人事評価制度や担当する課長の意見、そして毎日の目標達成度等を私自身も判断した中で考えていく。

神谷長平議員 昇任試験制度実施規程が平成21年11月に作成された。その実施規程に基づいて、平成25年12月までに何人が課長の昇任試験を受験したのか。

町長 課長職としての受験者は3人である。

適材適所で

子ども子育て支援新制度の運用について



神谷長平議員 昇任試験が実施されてから、9人が課長に昇格した。6人は試験を受けなくて課長になったのか。

町長 人事評価制度も踏まえた中で、適材適所であるということで6人を課長に昇格した。

塩井早苗議員 子ども・子育て支援法は平成24年8月に公布され、平成27年4月から全国の市町村でスタートする。この間さまざま細かい点が修正され、準備期間の2年が過ぎようとしている。子ども・子育て会議の取り組み状況は。

町長 子ども・子育て会議は、幼稚園・保育園・小学生の保護者、幼稚園長・保育園長・主任児童委員・学童保育所や育成会の代表者など15名で組織されている。制度は非常に複雑な内容であり、特に保育・教育・放課後児童・乳幼児健診な

塩井早苗議員 国が0・7兆円の予算を組んだというが、子ども子育て支援法の施行に対しての交付金は。

町長 システム費用として525万2000円ほど交付された。

塩井早苗議員 家庭的保育

町長 家庭的保育



「羽ばたく町の象徴」 邑楽町シンボルタワー

事業の条例は、家庭的保育事業・小規模保育事業・居宅訪問型保育事業・事業所内保育事業と大きく4つに分類されている。家庭的保育事業は定員5名で行うというのだが、事業を行う方の自宅そのまま行うという理解でいいのか。

塩井早苗議員 家庭的保育事業の人員基準については。

町長 保育士1人の場合は乳幼児が3人まで、町が行う研修を修了した補助者を配した場合には5人まで保育が可能である。

塩井早苗議員 小規模保育事業の人員基準は、0歳児3人に対して1人の保育

翌年度は半減の約1万8000人になり、直近の平成25年度は1万2653人である。

坂井孝次議員 1日あたり約36人、これが利用の現状である。タワーの入場料収入の推移は。

商工振興課長 入場料と望遠鏡使用料合わせて、平成5年度は約660万6000円。翌年度は半減の約367万7000円となり、平成25年度は88万7700

士、2歳児は6対1、3歳児は20対1、4歳児以上は30対1である。0歳児3人に保育士1人の基準では、1人の子がミルクを飲んで

いる最中に、もう1人の子にウンチが出たとすると対応できないわけである。この基準ではとても不安が残る。町としてはこの基準に上乗せ等のサービスを拡張する考えはあるのか。

町長 子ども・子育て会議の中では、数多くの意見が出された。国の基準では十分な対応ができないのではないかと。今後の見直しが必要ではないかという意見も随分あった。

邑楽町シンボルタワーの管理運営について

坂井孝次議員 広報おうちら12月号に邑楽タワーの特集記事が掲載された。「羽ばたく町の象徴」 邑楽町シンボルタワーと。文字どおり

町の活力としたいため、管理や運営、今後の対応について質問したい。まず、タワーの運営費の推移は。

商工振興課長 平成5年度の開館時は約1300万円、平成25年度は約750万円である。

坂井孝次議員 タワーへの来客者の推移は。

商工振興課長 入場者は初年度が約3万4000人。

円であった。

坂井孝次議員 非常に少ない金額だが、タワーの活用経緯は。

商工振興課長 開館から10年間は町の臨時職員が管理していた。その後、経費節減のため高齢者活力センターに管理を委託した。またイベントでは、元旦の「初日の出」展望から始まり、12月のタワー・オブ・クリスマス、壁面への映写等様々な事業を行っている。

坂井孝次議員 携帯電話の基地局収入等が180万円、入場料収入と合わせ約300万円程の収入になる

必要ではないかという意見も随分あった。

塩井早苗議員 町の保育環境をよくするためには、この状況を把握していく必要を感じるが、町としての方針を聞きたい。

事業が円滑に進むよう努力

町長 家庭的保育事業等は町に申請をいただき、町で認可する。監査指導等についても町で行い、事業が円滑に進むよう努力したい。



The Lounge
— 休憩室 —



後藤 文夫
(前原・4区)

健康第一

四十数年のサラリーマン生活を終え、1年が経過しました。「光陰矢の如し」と申しませんが、月日の経つのは速いものです。

現役時代は、朝早く、夜遅く、週末のみが地域の人間であり、あまり地域との繋がりはありませんでした。

現在は時間的に余裕ができ、二つのボランティアグループに参加し、活動しています。毎日の生活が一変し、健康管理のため、ラジオ体操、散歩等を実践しています。また、家庭菜園、樹木の手入れ等家庭の雑用も日課となりました。

災害の少ない緑豊かな地に生まれ育ったことに感謝し、今後は「健康第一」「何事にも前向きに」ということを心がけて、生活していきたいと思っています。



岡田 美代子
(水立大黒・23区)

心温まった数分に感謝

先日のことです。邑楽町立南保育園の所を通りましたら、道路側のフェンスの所で中学生と園児たちがなやましいへん賑わっていました。ちょっと車を止めました。職場体験で来た中学生でしょうか。

中学生のお兄さんお姉さんと園児たちが何度もハイタッチをしたり、手を握り合ったりしながら、別れを惜しんでいました。なんとも微笑ましく、胸が熱くなり、涙ぐんでしまいました。

私の子どもの頃もありましたが、今もまだ続いていることがとてもうれしく思います。子どもさんたちの環境も昔と違ってきています。子どもさんたちが地域の中で人と触れ合い、体験することは、今の時代たいへん貴重なことだと思います。

町の未来を創っていく子どもさんたちを、陰ながら応援していきたいと思っています。



が、観光の目玉、町の象徴という言葉にしては規模が小さいのではないかと。たくさんの人を集め、町が活気を帯びる、それが目玉だと私は思う。もっと目標を明確に設定する必要がある。また、タワーは地上から40メートルで150人入れる。このような施設はこの近辺にはない。この施設を上手く使えば収益は大いにあがる。結婚記念パーティーとか、子どもが産まれたとき、その家族を招待して花火をあげ、町として子どもの誕生を祝う等いろいろ期待ができる。規制緩和し、利用時間も大幅に延ばして、この設備・施設を民間に貸し出すという考えはないか。

活路を見い出す

町長 現在のところその考えはない。これから中央公民館等ができる中、そういった活路を見い出せる部分もあるのかなと思っっている。一つの考え方として承り、今後いろいろ研究していきたい。

の拡充を図っていききたい。教育環境整備の面では、高島幼稚園と北保育園が一体となった保育環境づくり。そして、町民の学びと生き甲斐づくりの拠点となる中央公民館建設事業。また、中野小学校プールの改築事業やスポーツレクリエーション広場の人工芝化を進めていきたい。町の高齢化率も26%を超えている。高齢者対策、障害者福祉についても、十分な支援ができればという考えである。

来年度の予算編成と今後の町政運営について

大野貞夫議員 行政運営の中、今後の町づくりの課題の中で優先順位がある。計画を具体的に示していかなければならない。単にこれをやりません。検討します。貴重なご意見をと町長は言うが、町を今後このようにしていくという青写真が感

じられない。具体的に考え方を示していただきたい。**町長** 平成27年度の考え方は一つには子供を安心して産み育てられる環境づくりが必要。そのためには、多子家庭に対しての保育料等の軽減、子どもの貧困防止対策、準要保護世帯に対して

と北保育園は幼保一体化として今幼稚園を建築中である。中央公民館は少子高齢化の中、これだけのお金をかけて造る必要があるのかという意見があるのも事実。しかし、文化の大切さは、時代がどうあろうとも大事にしなければならぬ。すぐに結果は出ないが、生涯学習の拠点として必要だ。人材の育成を図ることが、今後10年後、20年

後の町の活性化につながる。また現在、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の滞納額が約3億1000万円ある。保険料が高いと10人に聞くと10人が言う。町独自の責任というよりはむしろ国の医療行政の未熟さが出ており、町が行政として守ってあげる防波堤の役割をしていかなければならない。一番大事なことは少子化問題である。多子家庭への援助の中で、保育料の軽減という言葉も出てきた。子どもの貧困対策という言葉も出てきた。これをただ単に言葉だけで終わらせず、具体的に期限と指数を決めていただきたい。また、町の生活保護者が平成25年度末で88人が0・72%、邑楽郡が0・67%。町はこれらと比べると0・32%と低い。しかし、掘り下げれば、本当はもっといるのではないかと。今、国でも極力保護率を下げようとしている。窓口で帰っ

ていただくというのが大分あり、実態を細かく調査する必要があると思う。そういう問題も含めて、町長の考えは。

事業の具現化

町長 全ての事業を執行する上では、何といても財源が必要である。具体的な数値を示す機会が必要と思っっている。議員のご理解をいただく中で、平成27年度事業等については具現化していきたい。

その他の一般質問

・北広場の活用について



邑楽町のふるさと納税の現状は

小島幸典議員 邑楽町のふるさと納税の現状説明を。**町長** 人数と金額は、平成21年度は1件で7000円。平成23年度は6件で24万円。平成24年度は4件で13万円。平成25年度は7件で18万7000円。平成26年度は9月末現在5件で7万6400円で、貴重なふるさと納税をしていただいている。

ンを上げ、親戚や知り合いにお願ひし、援助を受けることは大事ではないか。そういう組織をどう考えるか。**町長** 納税のための組織を図ることは非常に難しい。町から転出される方には、ふるさと納税制度に協力願ひ、できるところから進めていくように努力したい。

小島幸典議員 年によって件数にばらつきがあるが、どうしてか。

小島幸典議員 町長は優秀な人脈を持っている。町職員は100人以上もいる。3分の1が協力してもすごい成果が上がる。思想や人種の壁を乗り越え、種を蒔くことで、何年に一人、何百人に一人、ふるさとを思う人が出てくればいい。町長・副町長・教育長、みんなが種を蒔かなければ芽は出ない。副町長の考えは。

町長 納税していただく方の厚意によることで、内容についてはわかりかねる。

小島幸典議員 職員の知り合いや先輩、後輩等に制度を知らない人がいると思う。ホームページと総務課窓口のピラだけでなく、町をよくするためにふるさと納税ができるアドバルーン

を提供し、手を変え品を変え

たくさんのお金を集めているところもある。議員からのご提案について、職員への呼びかけ等は妙案だと思うので、手始めに私から働きかけをしていきたい。

小島幸典議員 いつも前向きな姿勢で、あしたへの明るさがあったほうが良い。副町長が呼びかけることで、町のためになっているという心の人が多く集まってくれば、いい社会教育にもなる。これからふるさと納税を拡大していくのか、町長に聞きたい。**町長** 議員が言われたような同窓会等いろいろある場合があった折には、制度について十分話をし、協力いただけるよう努力したい。

小島幸典議員 金銭を飛び越えて人のためにとと思う人がいっぱいいる。1万円や2万円ではなく5000円とか、毎年納税の願いを広報等に出しているか。

広報に掲載したい

町長 広報には掲載してない。今後掲載したい。

小島幸典議員 生活弱者や子育てをしている人たちは大変な生活を強いられる。そういう流れの中、助け合う気持ち、ふるさと納税は最たるものだ。町の広報だけでなく、議会広報の中でも出していただきたい。

深刻な少子高齢人口減少の邑楽町の再生策は

小沢泰治議員 議員のある意味責務として、町のために提案や提言をし、また、行政の誤った事業実行がないようにチェック機能も議員が果たしていく役割がある。邑楽町が現在、群馬県内でも有数の少子高齢人口減少の町になっている。その現状を見てどう思うか。**町長** 邑楽町が特にどういうではなく、全体的な人口減少問題であると思う。

小沢泰治議員 過去の私の一般質問に対し、邑楽町はそんなに悪くはないと言いつつ、過日の新聞紙面で消滅可能性のある町だと載っていた。町の実態を知ってお話いただきたい。**町長** 邑楽町が消滅可能性のある町というのは、あくまで民間調査機関が調査したもので、私自身は思っていない。

議会のうごき

- 11月**
- 1日 島根県邑南町 町制施行10周年記念式典
 - 5日~7日 総務教育・産業福祉常任委員会合同視察研修
 - 12日 全国町村議会議長全国大会
 - 25日 議会運営委員会
 - 26日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
 - 27日 議会広報委員会研修
 - 28日 全員協議会

- 12月**
- 8日~12日 12月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
 - 22日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
 - 28日~31日 消防団歳末警戒の督励

- 1月**
- 6日 広報委員会編集会議
 - 10日 館林地区消防組合出初め式
 - 11日 成人式
 - 15日 新年賀詞交歓会
 - 19日 広報委員会校正会議、全員協議会
 - 27日 都市計画審議会



民であり、その地域住民が正しい判断を下すには、政治や経済、社会など、さまざまな分野の情報を手軽に入手できる環境が重要です。そのため、欧州各国では、民主主義を支える公共財として一定の要件を備えた新聞・書籍・雑誌にゼロ税率や軽減税率が定着しており、消費者が知識を得る負担を軽くしています。「知

識には課税せず」ということが欧米諸国のほぼ共通した認識です。また、近年、いわゆる活字離れ・文字離れによって、特に若年層で、読み聞きた情報を理解する能力の低下が問題となつています。地域住民ひいては国民のリテラシーが衰えていくことは、行政や国の文化施策としても好ましいことではあ

りません。また、小中学校を中心に教育現場では、新聞の活用が広く浸透しており、さらに生涯学習への応用も検討されております。知識への課税強化は確実に「国力」(文化力)の低下をもたらし、わが国の国際競争力を衰退させる恐れがあります。日本新聞協会の調査では、8割を超える国民が軽

減税率の導入を求め、6割が新聞や書籍にも生活必需品と同様に軽減税率を適用するよう望んでいます。日本独自の戸別配達制度により、わが国の新聞普及率は世界でも稀な水準にあり、今後も地域住民がより少ない負担で、どこでも多様な新聞を容易に購読できる環境を維持していくことは、民主主義と地域文化の健全

な発展に不可欠です。よって、邑楽町議会は、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要請します。
▼新聞への消費税の軽減税率を適用すること
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

小沢泰治議員 私個人とすれば、高等教育は消費税を上げて国費でやるべきだと思う。邑楽町においては高校・専門学校・大学、そ

の子ども達のいる世帯に町として現金、あるいは邑楽町の商品券、金券を配り、環境も制度もすばらしいものだと地方新聞や全国紙に載せていただき発信したならば、人口も伸びると思うが、町長はいかがか。
町長 そういった対象となる方々に現金を、あるいは商品券をといた話だが、現状では考えていない。

町民の意向を聞いて実行すれば邑楽町のためになると思う。ぜひ考えを変えていただければと思うが。
町長 議員の今のご質問を伺い、どのようにお答えをされているのか、正直見当たらない。

請願

前橋市古市町
上毛新聞社販売局内
群馬県新聞販売組合
理事長 金井美次
「継続審査となった請願」
▼「ゆきとどいた教育」の
前進をもとめる請願

意見書

請願者
前橋市大渡町
全群馬教職員組合
執行委員長 石田清人

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書
新聞は、日々の広範なニュースや情報を正確に報道し、多様な意見・論評を広く地域住民に提供することによって、国民の知権の健全な発展、さらに国民のリテラシー(読み書きの能力)に寄与するものです。しかし、4月に消費税率8%への増税が実施され、新聞業界では国民の負担増大に伴う新聞離れが懸念されております。

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、**3月10日から20日**を予定しています。

(開会は原則、午前10時:一般質問は11日、12日を予定)

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511(内線300)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

福島県 喜多方市山都町



榮 キイ子
(光善寺・15区)

わ

たしの故郷は、喜多方市山都町です。新潟・福島・山形の県境の山懐に囲まれた静かな田舎です。近くには飯豊山があります。

飯豊山は信仰の山でたくさんの方が登ったものでした。春の雪解けとともに山はいっせいに芽吹き、笑っているようで美しい。秋には四方が赤や黄色のもみじ色に染まります。

わたしの家は大家族で、10人が一緒に暮らし、朝の御飯は、三升の米を土窯で炊いたものです。父親たち

は、山に登るとき、そのご飯をすっかり弁当に詰め出かけては、ワラビ、ゼンマイ、マツタケをたくさん採りました。でもマツタケの採れる場所を、わたしは知りません。父親だけが知る秘密の場所があったようです。

ゼンマイは、綿を丁寧にとり除き、茹でてから、むしろの上で天日干しにする。ワラビは、萱が出る前のところにたくさん出て、わたし達もワラビ採りを夢中になってやったものです。貴重な現金収入で、図書館の本の購入にその収益金を当

てたものでした。

山都町は、山や水の自然に恵まれた素晴らしい故郷です。ソバも特産品です。美しい山のおいしいソバを是非一度、ご賞味ください。



飯豊山と菜の花畑

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

年末は、衆議院議員の総選挙があり、何かと慌ただしく過ごされたことと思います。また、日本各地で近年にない大雪が降り、台風やゲリラ豪雨による地滑りもありました。そして、御嶽山の噴火による多くの農作物被害や悲しいこともありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。当町においては、大雪による被害はありませんでしたが、台風や豪雨の被害はさほどなくすみました。

12月定例会では、中野小学校のプール建設関連経費が2年越しに補正予算で可決されました。

議会広報委員会は、皆様に愛読されるよう心掛けています。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。今年もよろしく願っています。

(原記)